


特集 共存・共生を根付かせる環境教育

- 2 日本鳥類保護連盟の共存・共生を根付かせる環境教育 (連盟 普及啓発室)
 - 4 「福生第五小学校の共存・共生を根付かせる環境教育」
(福生市立 福生第五小学校)
 - 6 野鳥の森からふるさと滝脇小学区の自然との共存・共生
への取り組み (豊田市立 滝脇小学校)
 - 8 マガレンジャーが育む宮島沼の自然と持続可能な社会
(牛山克巳)
 - 10 かさいキッズレンジャーと共存・共生を根付かせる
環境教育 (木村成美)
-
- 12 生きものはつながっている
身近な冬の使者「ユリカモメ」(澤 祐介)
 - 14 生きものはつながっている
干潟でよくみられる「コケゴカイ」はどんな一生を送っている？(上野綾子)
 - 16 第6回シマフクロウステッカーデザインコンテスト2024 結果発表
 - 17 サシバの渡り報告と次回クラウドファンディング
 - 17 ブランド品寄付サービスによる支援のご紹介
 - 18 2つ穴巣箱を使ってみよう！
-
- 19 書評コーナー
 - 20 連盟だより／インフォメーション
 - 21 日本の野鳥カレンダー 2026 写真募集
 - 22 2024 (令和6年) 年間目録
 - 24 使用済み切手・カード類提供のお願い／商品の注文について／バックナンバーの提供について
／会費の有効期限の見方／広告募集／編集後記

ネイチャーフォト
伊豆沼のガンたち (江口欣照)

植物豆知識〈36〉 鎧か？ バリアスーツか？ (杉崎光明)
スタッフだより
登山道に落ちていたのは (吉田裕樹)

表紙のことば 澤 祐介 (山階鳥類研究所)

隅田川のユリカモメ (東京都台東区浅草にて撮影)

ユリカモメはもっとも身近な冬鳥の一つです。冬になると都会の河川や沿岸部でもたくさんの鳥を見ることが出来ます。平安時代の書物「伊勢物語」にも、東下りの際に隅田川で「都鳥」という名前が登場します。そのころから変わらずに渡り続けるユリカモメ。変わりゆく日本の自然をみて何を思っているのだろうか、ふと考えてしまいます。

